

2015年（平成27年）の日本の天候（速報）

2015年（平成27年）の日本の天候の特徴：

年平均気温は全国的に高く、北・東日本と沖縄・奄美ではかなり高い。ただし、西日本は2年連続の冷夏。

夏から秋の一時期を除き、全国的に高温傾向が続いた。3月は北日本で、5月は北・東日本で、6月と11月は沖縄・奄美で記録的な高温となった。夏から秋にかけては西日本中心に低温の時期があり、西日本は2年連続の冷夏となった。年平均気温は、西日本を除いてかなり高く、西日本でも高かった。

年降水量は、西日本太平洋側でかなり多く、東日本太平洋側で多い。また、「平成27年9月関東・東北豪雨」が発生。

夏に前線や台風、湿った気流の影響を受けやすく降水量が多かった西日本太平洋側では、年降水量がかなり多かった。また、9月に関東地方や東北地方で記録的な大雨（「平成27年9月関東・東北豪雨」と命名）となったことなどにより東日本太平洋側でも年降水量が多かった。一方、東日本日本海側では、夏の降水量がかなり少なかったことから、年降水量は少なかった。

年間日照時間は、北日本と東日本日本海側で多く、西日本で少ない。

北・東日本では、春の後半や秋の中頃に晴れの日が多く、日照時間がかなり多くなったことなどから、北日本と東日本日本海側では、年間日照時間が多かった。一方、西日本では夏に日照時間が少なかったことなどから、年間日照時間は少なかった。

本資料は、全国154地点の气象台等における12月20日までの観測データをもとに、速報としてまとめたものです。12月31日までの観測データによる資料は平成28年1月4日に発表します。

1 概況

夏から秋の一時期を除き、全国的に高温傾向が続いた。3月は北日本で、5月は北・東日本で、6月と11月は沖縄・奄美で記録的な高温となった。夏から秋にかけては西日本中心に低温の時期があり、西日本では2年連続の冷夏となった。年平均気温は、西日本を除いてかなり高く、西日本でも高かった。北・東日本では、8月中旬～9月上旬など日照時間の少ない時期もあったが、春の後半や秋の中頃に高気圧に覆われ日照時間がかなり多くなった。このため年間日照時間は北日本と東日本日本海側で多かった。年降水量は、梅雨前線の影響を受けにくく夏の降水量がかなり少なかった東日本日本海側では少なかったが、9月に「平成27年9月関東・東北豪雨」があった東日本太平洋側では多かった。西日本では、夏に太平洋高気圧の張り出しが弱く、太平洋側を中心に前線や台風、湿った気流の影響を受けやすかったことや4月と11月に前線や低気圧の影響で記録的な寡照となったことなどから、年間日照時間は少なく、年降水量は西日本太平洋側でかなり多かった。沖縄・奄美では、年降水量、年間日照時間ともに平年並だった。

冬は、前年12月は全国的に低温となったが、1月以降は沖縄・奄美で低温の時期があったほか、北日本中心に高温傾向となり、冬の平均気温は、北日本で高く、東日本以西では低かった。冬の日本海側の降雪量は少なく、北日本日本海側ではかなり少なかったが、北陸以北の本州の山沿いでは、低気圧の発達に伴って冬型の気圧配置が強まったことから、平年を上回った。また、北海道を中心に暴風雪となる日がたびたびあった。

春は、北・東日本中心に高気圧に覆われ晴れの日が多く、春の日照時間はかなり多くなった。ただし、4月は上旬を中心に東・西日本太平洋側では顕著な寡照となった。また、低気圧が日本の北を通ることが多く、南から暖かい空気が入りやすく、春の平均気温は北日本で記録的な高温となるなど全国的に高温となった。

夏は、西日本では前線や台風、南からの湿った気流の影響を受けやすかったため、太平洋側を中心に降水量が多く、日照時間が少なかった。このため、夏の平均気温は低く、2年連続の冷夏となった。沖縄・奄美でも多雨・寡照となったが、6月が記録的な高温だったため、夏の平均気温はかなり高かった。北・東日本では、7月中旬から8月上旬にかけて、太平洋高気圧に覆われ顕著な高温となり、北日本では夏の平均気温が高かった。また、東日本日本海側では梅雨前線の影響を受けにくく、夏の降水量がかなり少なかった。8月中旬以降は、太平洋高気圧の本州付近への張り出しが弱く、全国的に前線や台風、湿った気流の影響を受け、曇りや雨の日が多く、不順な天候となった。

秋は、北日本から西日本では、8月から引き続き9月上旬は不順な天候となった。台風第17号と第18号の接近により、関東地方や東北地方では記録的な大雨となり、河川の氾濫など甚大な災害が発生した（平成27年9月関東・東北豪雨）。9月中旬から10月下旬にかけては、大陸の高気圧に覆われ晴れて、気温は低温傾向となり、日照時間はかなり多かった。11月は一転して前線や低気圧の影響を受けやすく、南から暖かい空気が入りやすかったため、気温がかなり高くなり、太平洋側や西日本で日照時間がかなり少なかった。沖縄・奄美では、11月は記録的な高温になったことなどから、秋の平均気温はかなり高く、また台風第21号の接近により暴風になったほかは秋を通じて低気圧や台風等の影響を受けにくく、少雨傾向が続いたため、秋の降水量はかなり少なかった。

2 気温、降水量、日照時間の気候統計値

(1) 平均気温

年平均気温は、北・東日本と沖縄・奄美ではかなり高かった。釧路（北海道）、仙台（宮城県）など13地点で年平均気温の平年差が最高値を上回っており、秋田（秋田県）、千葉（千葉県）など4地点で最大値と同じ値となっている。西日本で高かった。

(2) 降水量

年降水量は、西日本太平洋側でかなり多く、東日本太平洋側で多かった。枕崎（鹿児島県）では年降水量の平年比が最大値を上回っている。一方、東日本日本海側では少なかった。北日本、西日本日本海側、沖縄・奄美は平年並だった。

(3) 日照時間

年間日照時間は、北日本と東日本日本海側で多かった。仙台（宮城県）では年間日照時間の平年比が最大値と同じ値となっている。一方、西日本では少なかった。東日本太平洋側と沖縄・奄美は平年並だった。

地域平均平年差（比）と階級（2015年）

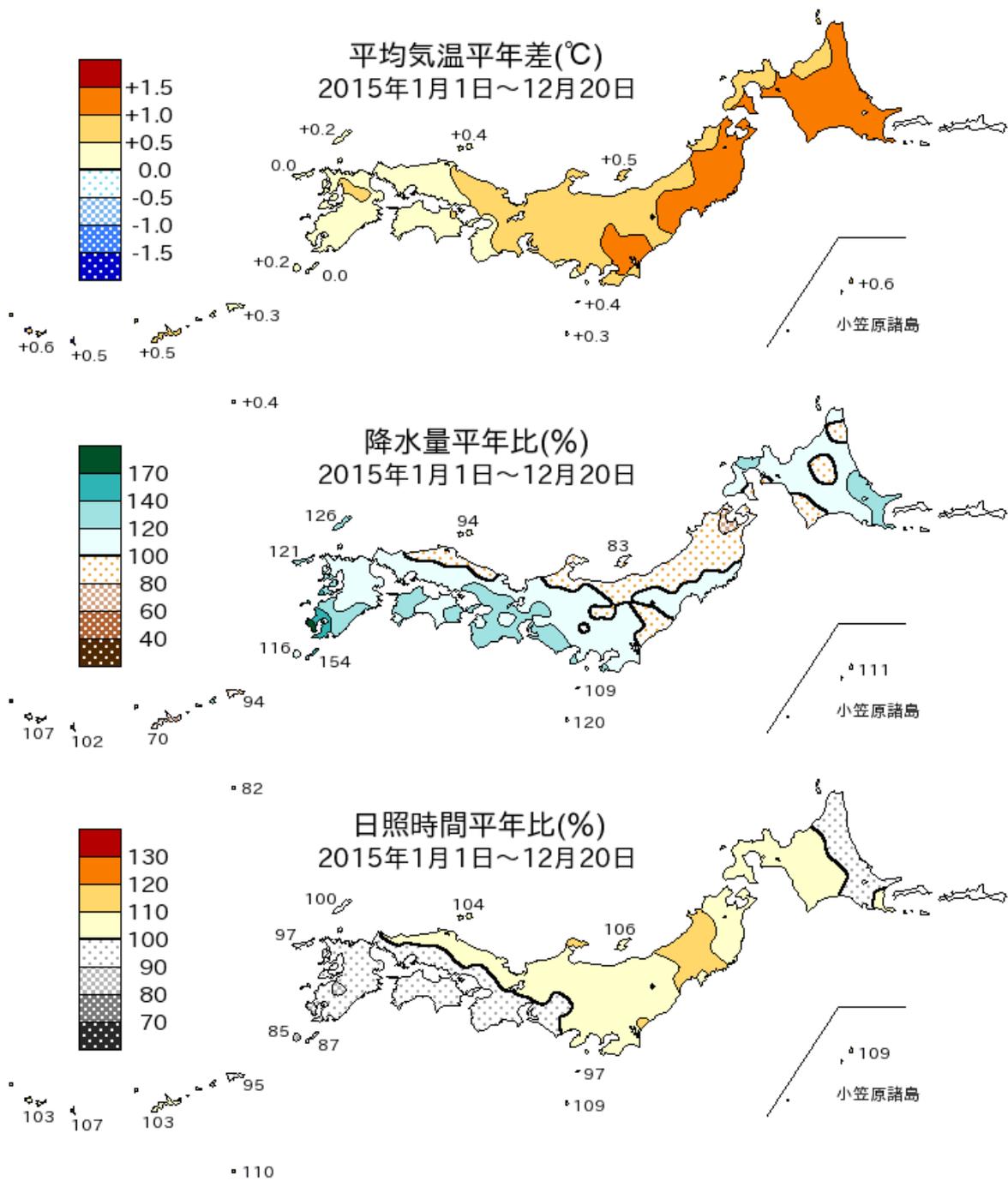
	気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)
北日本	1.1 (+)*	102 (○) 日 100 (○) 太 104 (○)	105 (+) 日 104 (+) 太 105 (+)	北海道	1.1 (+)*	108 (+) 日 109 (+) 才 113 (+) 太 104 (○)	102 (○) 日 102 (○) 才 97 (-) 太 104 (+)
東日本	0.8 (+)*	109 (+) 日 91 (-) 太 114 (+)	103 (+) 日 105 (+) 太 102 (○)	東北	1.1 (+)*	95 (-) 日 88 (-)* 太 100 (○)	108 (+) 日 110 (+)* 太 107 (+)
西日本	0.3 (+)	118 (+)* 日 106 (○) 太 127 (+)*	96 (-) 日 97 (-) 太 95 (-)	関東甲信	0.9 (+)*	107 (+)	104 (+)
沖縄・奄美	0.5 (+)*	102 (○)	101 (○)	北陸	0.6 (+)	91 (-)	105 (+)
				東海	0.6 (+)	123 (+)*	100 (○)
				近畿	0.6 (+)	122 (+) 日 107 (+) 太 128 (+)*	99 (-) 日 103 (○) 太 97 (-)
				中国	0.4 (+)	103 (○) 陰 93 (○) 陽 114 (+)	100 (○) 陰 102 (○) 陽 98 (-)
				四国	0.4 (+)	120 (+)	96 (-)
				九州北部	0.1 (○)	111 (+)	94 (-)
				九州南部・奄美	0.3 (+) 本 0.2 (○) 奄 0.5 (+)*	136 (+)* 本 141 (+)* 奄 113 (+)	92 (-)* 本 91 (-)* 奄 96 (-)
				沖縄	0.5 (+)*	98 (○)	103 (○)

階級表示 -:低い(少ない) ○:平年並 +:高い(多い) *はかなり低い(少ない) かなり高い(多い)を表す
 地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)
 才:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美
 太:太平洋側

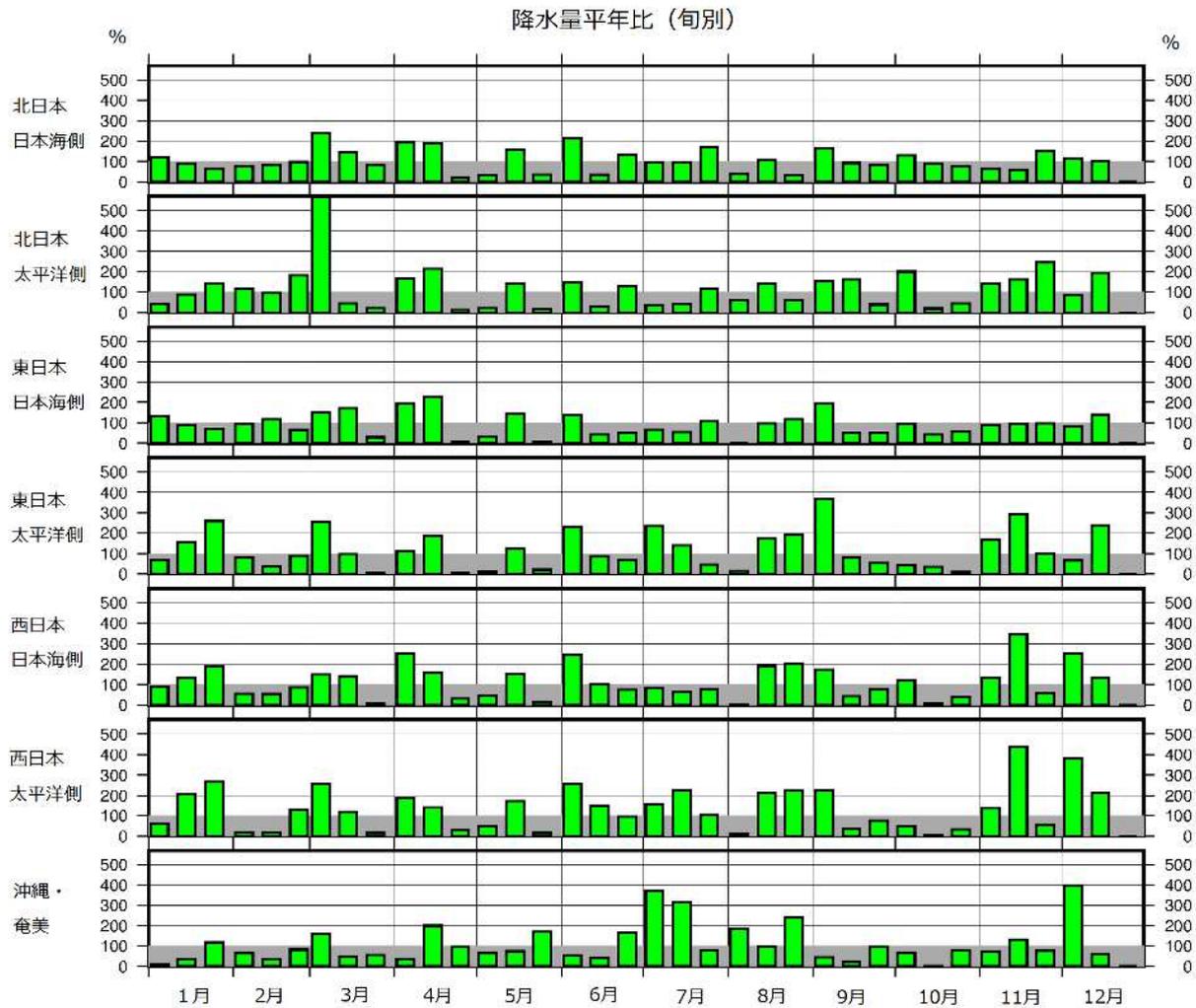
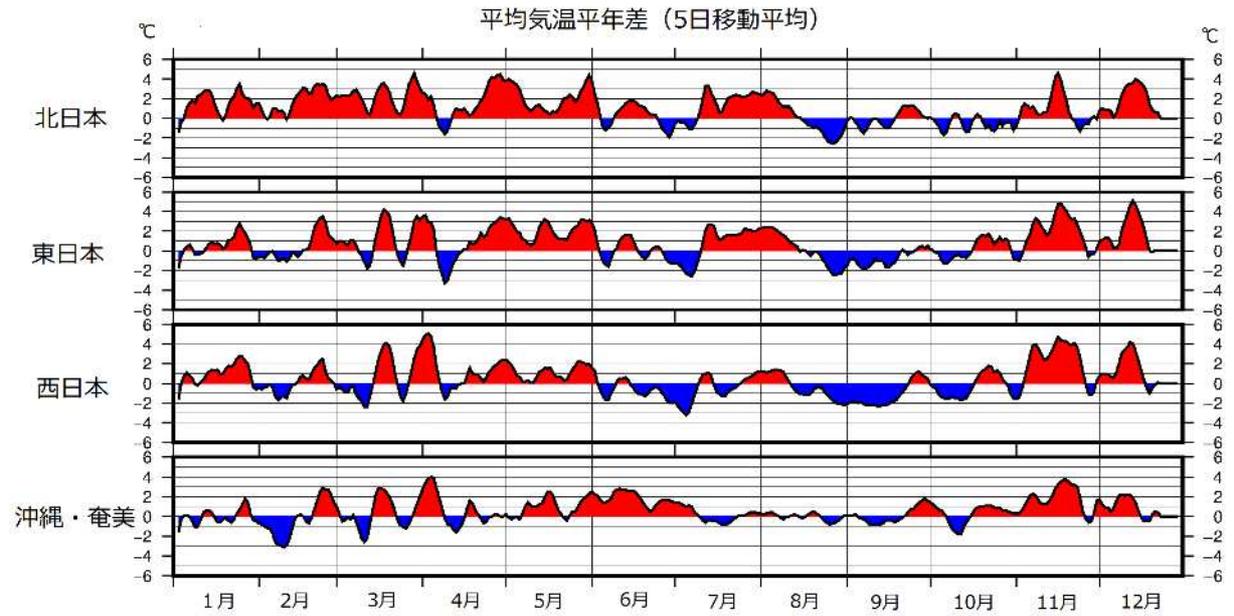
(注)・基礎となるデータは全国の気象台等での観測値で、観測所数は154地点である。このうち、降雪の深さ、最深積雪については、観測を行っている106地点が対象である。

- ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1981~2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1981~2010年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。
- ・本文中の北・東・西日本の降水量・日照時間の特徴は、日本海側・太平洋側の階級に基づいて記述している。

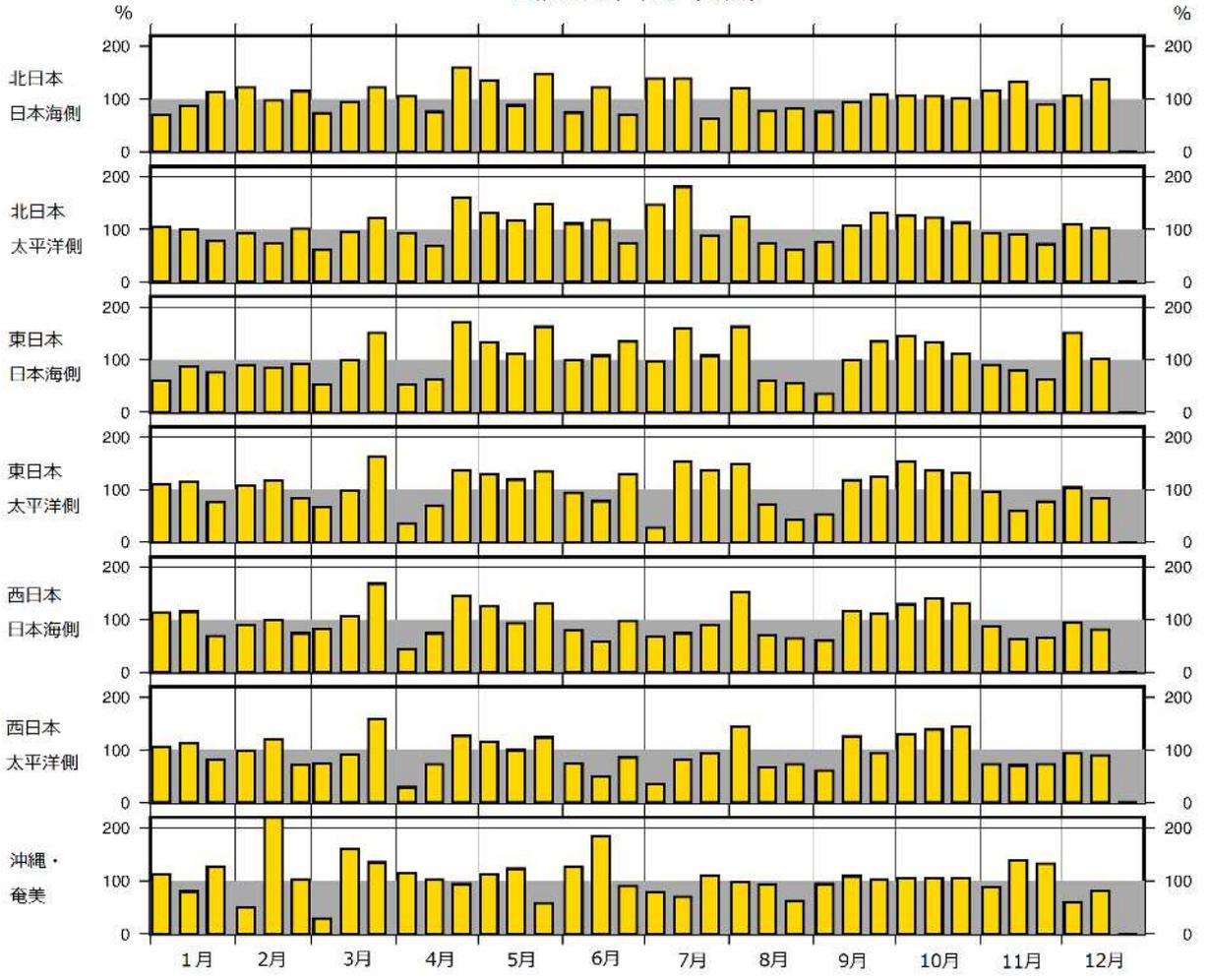
平年差（比）図（2015年）



地域平均年差（比）の経過（2015年）（12月20日までのデータによる）



日照時間平年比（旬別）



観測史上1位の値(月、3か月、年別値)の更新地点数

- ・全国154地点の気象台等の統計値の中で、観測史上1位となった地点数を記載した。
- ・値は1位を更新した地点数でタイ記録は含めない、タイ記録がある場合には「値タイ」として横に併記した
- ・地域は更新およびタイ記録の地点数の合計が5以上のとき記載した
 (気温)北:北日本、東:東日本、西:西日本、沖奄:沖縄・奄美
 (降水量、日照時間)北日:北日本日本海側、北太:北日本太平洋側、東日:東日本日本海側、東太:東日本太平洋側、西日:西日本日本海側、西太:西日本太平洋側、沖奄:沖縄・奄美

	平均気温		降水量		日照時間		降雪の深さ	最深積雪
	最高	最低	最大	最小	最大	最小	最大	最大
1月				4				
2月	2			2				
冬			1					
3月	20、4タイ 北		6 北日、北太		1			1タイ
4月	1		2					
5月	55、8タイ 北、東			3	11 北太、東日			
春	31、7タイ 北				3			
6月	5 沖奄		5 西太					
7月								
8月			2	1				
夏	1		2					
9月			2					
10月			1	7 東太	37 西日、西太			
11月	20、7タイ 沖奄					5 西日、西太		
秋			1					
年(速報) 2015年	13、4タイ 北		1		1タイ			

3 季節別の天候経過

冬（2014年12月～2015年2月）:

北日本は暖冬、東・西日本と沖縄・奄美は寒冬

日本海側の降雪量は少なく、北日本日本海側ではかなり少なかった

北日本では北海道を中心にたびたび暴風雪

12月から1月はじめにかけては、冬型の気圧配置となる日が多く、日本付近には周期的に強い寒気が南下した。このため、全国的に気温の低い日が続き、日本海側では曇りや雪または雨の日が平年より多く、降雪量、積雪ともに平年を大きく上回った所が多かった。また、寒気の影響を受けて、太平洋側でも東日本を除いて平年より晴れの日が少なく、局地的な大雪となった所があった。その後は、シベリア高気圧の張り出しに伴う大陸からの寒気の南下が、東シナ海方面で平年より強く、北日本方面では平年より弱い状態が続いた。このため、沖縄・奄美では気温の低い日が多く、降水量の少ない状態が続いた。一方、寒気の南下が弱かった北日本では気温の高い日が続き、北日本日本海側の平地の降雪量は少なかった。東・西日本の気温は、1月後半と2月後半は高く、2月前半はやや低く経過した。

この結果、冬の平均気温は北日本で高く、暖冬となった。一方、東・西日本と沖縄・奄美では低く、東日本では4年連続の寒冬となった。また、冬の日本海側の降雪量は少なく、北日本日本海側ではかなり少なかった。ただし、北陸以北の本州の山沿いでは、1月以降も低気圧の発達に伴って冬型の気圧配置が強まったことから、寒気の南下が弱かったにもかかわらず、冬の降雪量や最深積雪は平年を上回った。

また、冬の期間を通して、低気圧が本州南岸をしばしば通過し、太平洋側でも雪の日やまとまった雨となる日があった。低気圧が北日本の東海上で発達して動きが遅くなり、北海道を中心に暴風雪となる日もたびたびあり、道東では降雪量や最深積雪が平年を上回った。

平均気温：冬の平均気温は、北日本は高く、東・西日本と沖縄・奄美で低かった。

降水量：冬の降水量は、北・東・西日本で多く、東日本日本海側ではかなり多かった。沖縄・奄美では少なかった。

日照時間：冬の日照時間は、東・西日本日本海側と北日本太平洋側でかなり少なく、北日本日本海側と西日本太平洋側で少なかった。東日本太平洋側と沖縄・奄美は平年並だった。

春（3～5月）:

北日本で記録的な高温

北日本の降水量は多かった

北・東日本と西日本日本海側で多照

本州付近は移動性高気圧に覆われる日が多く、北日本から西日本日本海側にかけては晴れの日が多く、特に、4月下旬から5月下旬にかけては、北・東日本を中心に少雨・多照となった。ただし、3月前半は、北日本を中心に全国的に低気圧の影響を受け、暴風や大雨または大雪となった日があった。4月上旬・中旬は、北日本から西日本にかけて低気圧や前線の影響を受けて曇りや雨の日が多く、4月上旬は東・西日本太平洋側で、記録的な日照不足となった。また、5月中旬には低気圧や沖縄・奄美付近から四国の南に北上した台風第6号の影響で、全国の広い範囲で大雨となった。これらの影響で、北日本の春の降水量は多くなった。

気温は、低気圧が日本の北を通過することが多く、日本付近には南西からの暖かい空気が流れ込んだため、全国的に高かった。特に、北日本では3月と5月に記録的な高温となるとともに、春としても平年差+1.9 となり、統計を開始した1946年以降で春としては最も高い記録

を更新した。

平均気温：北・東・西日本ではかなり高く、沖縄・奄美で高かった。

降水量：北日本で多く、東・西日本、沖縄・奄美では平年並だった。

日照時間：北日本、東日本日本海側ではかなり多く、東日本太平洋側、西日本日本海側で多かった。西日本太平洋側と沖縄・奄美で平年並だった。

夏(6~8月)：

北日本と沖縄・奄美で暑夏、西日本は冷夏

降水量は、西日本太平洋側と沖縄・奄美でかなり多く、東日本日本海側でかなり少なかった
日照時間は、西日本太平洋側でかなり少なかった

6月は梅雨前線が西日本南岸に停滞することが多く、活動が活発だった。特に、前線が停滞しやすかった九州南部では月降水量が平年比227%となり、6月としては最も降水量が多くなった(統計開始1946年)。7月上旬は梅雨前線が本州南岸に停滞し、東・西日本太平洋側では曇りや雨の日が多く、西日本を中心に気温がかなり低かった。7月中旬から下旬にかけては梅雨前線が北上し、日本海から北日本にかけて停滞することが多く、北・東日本日本海側で下旬の降水量が多くなった。沖縄・奄美や東・西日本太平洋側では、梅雨前線と台風第9号、11号、12号と相次ぐ台風の接近・上陸の影響で、7月の降水量がかなり多かった。

太平洋高気圧は、6月は沖縄付近への張り出しが強く、沖縄・奄美の月平均気温は平年差+1.8と、6月としては最も高温(統計開始1946年)となった。7月上旬以降、日本の南東海上で次第に太平洋高気圧の勢力が強まり、7月中旬から8月上旬にかけて本州付近に張り出した。北・東日本では7月中旬以降、西日本でも7月下旬以降は晴れて気温の高い日が多く、各地で梅雨明けして8月上旬を中心に日最高気温が35以上の猛暑日となった所が多かった。

8月中旬になると太平洋高気圧の本州付近への張り出しが弱まり、オホーツク海からカムチャツカの東にかけての高気圧と日本の南海上の太平洋高気圧との間で本州付近が気圧の谷となり、北日本から西日本にかけて低気圧や前線の影響を受けやすくなった。また、8月下旬は、非常に強い台風第15号が接近・上陸し、沖縄・奄美や西日本で暴風雨となった。一方、北・東日本ではオホーツク海から高気圧が張り出し、北東から冷たく湿った空気が流れ込んだため、気温が低く、太平洋側を中心に曇りや雨の日が多かった。

夏の平均気温は、6月が顕著な高温だった沖縄・奄美でかなり高く、7月中旬から8月上旬にかけて太平洋高気圧の張り出しが強まった北日本で高かった。気温の高い時期と低い時期があった東日本は平年並だった。夏の日照時間は、前線や台風、湿った気流の影響を受けやすかった西日本から沖縄・奄美にかけて少なく、西日本太平洋側ではかなり少なかった。また、西日本太平洋側と沖縄・奄美では夏の降水量もかなり多く、西日本では2年連続の冷夏となった。一方、東日本日本海側や東北地方では梅雨前線の影響を受けにくく、夏の降水量は、東日本日本海側でかなり少なく、北日本太平洋側で少なかった。

平均気温： 沖縄・奄美でかなり高く、北日本で高かった。一方、西日本では低かった。東日本では平年並だった。

降水量： 西日本太平洋側、沖縄・奄美でかなり多く、東日本太平洋側では多かった。一方、東日本日本海側ではかなり少なく、北日本太平洋側では少なかった。北・西日本日本海側では平年並だった。

日照時間： 西日本太平洋側でかなり少なく、西日本日本海側と沖縄・奄美では少なかった。北・東日本では平年並だった。

秋(9~11月):

9月は東・西日本で、10月は北日本で低温、11月は全国的に高温だった

9月上旬と11月は太平洋側を中心に多雨寡照、9月中下旬と10月は全国的に少雨多照

沖縄・奄美では気温がかなり高く、降水量がかなり少なかった

9月から10月にかけては、日本付近の偏西風は平年に比べ南寄りを流れ、日本付近は寒気が南下しやすく、北・東・西日本では低温傾向だった。9月上旬は、台風第17・18号の影響により、関東地方から東北地方の太平洋側では記録的な大雨になり、大きな被害が生じた(平成27年9月関東・東北豪雨)。しかしその後の9月中旬から10月にかけては、大陸から移動してきた高気圧に覆われることが多く、全国的に少雨・多照傾向となった。

11月は偏西風は日本付近で北に蛇行し、日本付近は寒気が南下しにくく、全国的に高温となった。また、低気圧や前線の影響で太平洋側を中心に多雨・寡照傾向となった。

気温の低い時期と高い時期があった北・東・西日本では、秋の平均気温は平年並となったが、沖縄・奄美では、9月、10月は平年並だったものの、11月の気温が記録的に高く、秋の平均気温もかなり高くなった。

秋の降水量は、西日本などでは多雨の時期と少雨の時期があったため平年並となったが、北・東日本太平洋側では、特に9月上旬の「平成27年9月関東・東北豪雨」の影響により、多くなった。沖縄・奄美では、期間を通じて少雨傾向が続き、秋の降水量がかなり少なくなった。

秋の日照時間は、北・東・西日本では日照時間の少ない時期もあったが、10月の記録的な多照の影響で、平年並が多くなった。沖縄・奄美では、11月の多照の影響により、秋の日照時間は多くなった。

平均気温：沖縄・奄美でかなり高く、北・東・西日本は平年並だった。

降水量：沖縄・奄美でかなり少なく、東日本日本海側で少なかった。北・東日本太平洋側では多かった。北日本日本海側と西日本は平年並だった。

日照時間：北・東日本太平洋側、沖縄・奄美で多く、北・東日本日本海側と西日本では平年並だった。

4 全国気候表 2015年(12月20日までのデータによる)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 1mm	日照時間(平年比)	
	()	()	(mm)	(%)		(h)	(%)
札幌	10.4	(+1.1)	1239.0	(116)	137	1786.0	(104)
稚内	8.2	(+1.1)	1110.5	(108)	141	1429.4	(97)
北見枝幸	7.5	(+1.1)	1004.0	(90)	133	1444.3	(95)
旭川	8.4	(+1.1)	967.0	(96)	132	1570.2	(100)
留萌	8.9	(+0.8)	1207.5	(111)	150	1542.8	(101)
羽幌	9.0	(+0.9)	1263.0	(103)	159	1552.9	(99)
岩見沢	9.1	(+1.0)	1169.0	(105)	133	1719.2	(102)
倶知安	8.3	(+0.9)	1525.0	(108)	161	1517.4	(104)
小樽	9.9	(+1.0)	1273.5	(108)	145	1628.6	(101)
寿都	9.9	(+0.9)	1478.5	(130)	146	1432.1	(101)
網走	8.0	(+1.1)	1003.5	(131)	112	1808.9	(99)
紋別	7.8	(+1.1)	951.0	(121)	111	1651.9	(98)
雄武	7.2	(+1.1)	936.5	(111)	112	1583.8	(96)
釧路	8.1	(+1.5)	1152.5	(113)	95	1865.4	(98)
根室	7.9	(+1.3)	1282.5	(128)	113	1813.9	(101)
帯広	8.6	(+1.4)	885.5	(102)	86	2025.5	(103)
広尾	8.5	(+1.3)	1551.0	(93)	111	1821.9	(103)
室蘭	10.0	(+1.1)	1113.0	(96)	119	1861.7	(109)
苫小牧	9.1	(+1.1)	1177.5	(100)	116	1764.8	(106)
浦河	9.3	(+1.0)	1002.5	(95)	110	1861.2	(104)
函館	10.7	(+1.2)	1113.5	(99)	122	1839.4	(107)
江差	11.3	(+0.9)	1252.0	(108)	141	1522.2	(106)
青森	11.9	(+1.2)	942.0	(76)	123	1723.1	(109)
深浦	11.8	(+0.7)	1248.0	(88)	144	1573.6	(109)
むつ	11.0	(+1.1)	1269.0	(97)	128	1660.4	(104)
八戸	11.6	(+1.1)	907.0	(90)	91	1833.0	(101)
秋田	13.1	(+1.0)	1461.0	(90)	139	1697.7	(112)
盛岡	11.9	(+1.3)	1078.5	(87)	116	1815.7	(110)
大船渡	12.9	(+1.3)	1668.5	(109)	105	1877.0	(111)
宮古	11.9	(+1.0)	1331.5	(102)	93	1920.3	(105)
仙台	14.0	(+1.3)	1440.0	(116)	98	2042.4	(117)
石巻	12.9	(+1.0)	1071.5	(101)	95	2032.8	(108)
山形	13.1	(+1.0)	1015.5	(90)	128	1715.6	(108)
新庄	12.1	(+1.0)	1579.5	(89)	162	1480.6	(113)
酒田	13.9	(+0.9)	1532.0	(84)	152	1696.8	(110)
福島	14.6	(+1.2)	1278.5	(111)	104	1836.3	(108)
若松	13.0	(+0.9)	1209.5	(103)	136	1655.1	(104)
白河	12.9	(+1.0)	1295.5	(92)	113	1788.1	(103)
小名浜	14.6	(+0.9)	1318.0	(94)	103	2038.0	(103)
水戸	15.1	(+1.1)	1221.5	(91)	101	2049.9	(111)
館野	15.3	(+1.2)	1456.0	(114)	104	1994.8	(108)
宇都宮	15.3	(+1.1)	1642.5	(111)	113	1943.9	(106)
日光	8.1	(+0.8)	2167.5	(100)	130	1752.3	(103)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 1mm	日照時間(平年比)	
	()	()	(mm)	(%)		(h)	(%)
前橋	16.0	(+1.1)	1231.0	(99)	105	2070.0	(102)
熊谷	16.4	(+1.1)	1330.5	(104)	99	2089.3	(106)
秩父	14.5	(+1.0)	1424.0	(108)	105	1883.5	(103)
東京	16.7	(+1.0)	1772.5	(117)	113	1905.0	(105)
大島	16.9	(+0.6)	3020.5	(108)	140	1824.8	(104)
三宅島	18.3	(+0.4)	3169.5	(109)	151	1621.2	(97)
八丈島	18.3	(+0.3)	3752.5	(119)	177	1486.0	(109)
父島	23.9	(+0.6)	1398.0	(111)	85	2163.0	(108)
千葉	17.1	(+1.1)	1605.5	(117)	115	1981.7	(108)
銚子	16.4	(+0.7)	1759.5	(107)	119	1998.2	(105)
館山	16.9	(+0.7)	2182.5	(124)	127	1923.1	(102)
勝浦	16.6	(+0.6)	2207.0	(113)	120	1954.9	(105)
横浜	17.0	(+0.9)	1826.5	(109)	117	2014.0	(106)
長野	13.2	(+0.9)	1054.5	(115)	121	1904.0	(100)
松本	13.1	(+0.9)	1120.0	(109)	102	2111.2	(104)
諏訪	12.2	(+0.7)	1301.0	(102)	108	2105.4	(102)
軽井沢	9.3	(+0.7)	1174.0	(95)	113	1944.3	(104)
飯田	13.8	(+0.7)	1898.0	(119)	124	1941.3	(99)
甲府	15.9	(+0.8)	1107.5	(98)	98	2133.6	(101)
河口湖	11.8	(+0.9)	1586.5	(102)	105	1936.6	(103)
静岡	17.4	(+0.5)	2779.0	(120)	112	2057.9	(102)
浜松	17.3	(+0.7)	2504.0	(139)	118	2080.4	(97)
御前崎	17.1	(+0.4)	2753.5	(135)	125	2106.4	(98)
三島	16.9	(+0.7)	2262.5	(122)	116	1946.5	(103)
石廊崎	17.1	(+0.2)	2219.0	(126)	114	2104.9	(103)
網代	16.8	(+0.5)	2205.0	(112)	126	1807.2	(104)
名古屋	16.9	(+0.7)	1778.0	(117)	111	2032.1	(100)
伊良湖	16.9	(+0.6)	1958.0	(123)	108	2052.0	(96)
岐阜	16.9	(+0.7)	2241.0	(124)	119	2052.6	(101)
高山	12.1	(+0.7)	1755.5	(105)	147	1583.7	(99)
津	16.9	(+0.6)	1955.5	(124)	112	1989.0	(99)
上野	15.4	(+0.8)	1554.5	(115)	119	1671.4	(98)
尾鷲	16.9	(+0.5)	4920.5	(129)	127	1817.9	(96)
四日市	15.8	(+0.6)	2146.0	(125)	115	1885.5	(99)
新潟	14.7	(+0.5)	1439.5	(82)	148	1643.9	(102)
相川	14.7	(+0.5)	1211.0	(83)	146	1715.5	(106)
高田	14.6	(+0.6)	2169.5	(84)	164	1662.6	(106)
富山	15.2	(+0.8)	2048.5	(93)	165	1697.5	(107)
伏木	14.9	(+0.6)	1986.0	(93)	157	1707.7	(107)
金沢	15.7	(+0.7)	2083.0	(91)	165	1781.3	(108)
輪島	14.4	(+0.6)	1618.0	(80)	149	1714.5	(111)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 1mm	日照時間(平年比)	
	()	()	(mm)	(%)		(h)	(%)
福井	15.5	(+0.6)	2203.0	(103)	160	1667.3	(104)
敦賀	16.2	(+0.6)	2252.5	(112)	170	1578.6	(103)
彦根	15.8	(+0.8)	1752.0	(114)	139	1825.5	(102)
京都	17.0	(+0.8)	2017.5	(137)	121	1747.0	(101)
舞鶴	15.4	(+0.5)	1960.5	(110)	142	1584.3	(105)
大阪	17.5	(+0.3)	1631.5	(129)	116	1956.0	(101)
神戸	17.6	(+0.5)	1563.0	(130)	111	1939.7	(96)
豊岡	15.2	(+0.5)	1912.0	(98)	155	1497.3	(102)
姫路	16.2	(+0.6)	1621.0	(136)	101	1909.1	(96)
洲本	16.0	(+0.2)	1798.0	(129)	101	1912.9	(95)
奈良	15.9	(+0.7)	1492.5	(115)	126	1697.5	(95)
和歌山	17.5	(+0.5)	1511.0	(116)	105	1910.4	(94)
潮岬	17.8	(+0.3)	3214.5	(129)	131	2102.7	(99)
岡山	16.5	(0.0)	1312.0	(120)	98	1950.8	(99)
津山	14.6	(+0.6)	1619.5	(116)	115	1764.8	(101)
広島	17.0	(+0.4)	1625.5	(107)	104	1890.9	(95)
呉	16.8	(+0.3)	1612.0	(118)	102	1933.4	(97)
福山	16.0	(+0.3)	1258.5	(114)	103	1927.8	(94)
松江	15.7	(+0.5)	1680.5	(97)	144	1708.2	(102)
西郷	15.0	(+0.4)	1635.0	(94)	113	1783.0	(104)
浜田	15.9	(+0.1)	1534.0	(94)	131	1795.0	(104)
鳥取	15.8	(+0.6)	1675.5	(91)	151	1672.5	(102)
米子	15.8	(+0.5)	1545.5	(89)	144	1715.4	(100)
境	16.0	(+0.5)	1729.5	(94)	137	1706.8	(101)
徳島	17.3	(+0.4)	1965.5	(136)	102	2000.1	(98)
高松	17.2	(+0.6)	1169.5	(109)	100	1904.0	(95)
多度津	16.9	(+0.3)	1229.0	(116)	103	1989.0	(97)
松山	17.1	(+0.3)	1653.0	(127)	113	1826.4	(93)
宇和島	17.4	(+0.3)	2076.0	(127)	123	1804.1	(95)
高知	17.8	(+0.5)	2939.5	(116)	125	2025.3	(97)
宿毛	17.8	(+0.5)	2305.5	(118)	125	1943.6	(95)
清水	18.7	(+0.2)	2962.5	(121)	131	2013.4	(94)
室戸岬	17.2	(+0.2)	2624.0	(114)	130	2068.1	(98)
山口	16.2	(+0.4)	2044.0	(109)	119	1805.9	(97)
下関	17.2	(+0.2)	1654.5	(99)	119	1796.4	(98)
萩	16.1	(+0.3)	1677.5	(103)	133	1734.5	(102)
福岡	17.6	(+0.3)	1840.0	(116)	137	1842.1	(101)
飯塚	16.3	(+0.3)	1921.0	(110)	143	1725.6	(96)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 1mm	日照時間(平年比)	
	()	()	(mm)	(%)		(h)	(%)
大分	17.1	(+0.4)	1654.5	(101)	109	1764.1	(91)
日田	16.4	(+0.6)	2017.5	(113)	129	1686.7	(96)
長崎	17.6	(+0.1)	2378.0	(129)	128	1712.9	(94)
厳原	16.3	(+0.2)	2788.5	(126)	106	1797.3	(99)
平戸	16.5	(+0.1)	2367.0	(113)	129	1668.8	(95)
佐世保	17.6	(+0.3)	2109.0	(109)	125	1800.8	(96)
雲仙岳	13.3	(+0.2)	4018.0	(140)	147	1368.8	(97)
福江	17.1	(0.0)	2782.5	(121)	132	1655.9	(96)
佐賀	17.5	(+0.7)	2058.5	(111)	122	1841.0	(96)
熊本	17.6	(+0.3)	2267.0	(115)	127	1818.9	(93)
阿蘇山	10.7]	()	2802.5]	()	115]	969.3]	()
人吉	16.3	(+0.4)	2779.0	(117)	147	1589.3	(89)
牛深	18.4	(+0.1)	2766.5	(142)	137	1783.5	(94)
宮崎	18.0	(+0.2)	3175.0	(127)	136	1908.4	(93)
延岡	17.2	(+0.3)	2768.5	(121)	126	1951.8	(95)
都城	17.2	(+0.4)	3299.0	(135)	142	1750.8	(93)
油津	18.5	(0.0)	3508.0	(136)	140	1723.9	(91)
鹿児島	19.0	(+0.1)	3643.0	(162)	140	1712.0	(90)
阿久根	17.7	(+0.1)	2781.0	(137)	138	1778.8	(93)
枕崎	18.6	(+0.2)	3873.0	(180)	148	1658.9	(88)
屋久島	19.9	(+0.2)	5086.0	(115)	177	1272.2	(85)
種子島	19.9	(0.0)	3556.5	(153)	147	1531.1	(87)
名瀬	22.2	(+0.3)	2594.5	(94)	146	1266.6	(95)
沖永良部	23.1	(+0.5)	2378.0	(133)	110	1784.0	(97)
那覇	23.7	(+0.5)	1402.0	(70)	98	1787.8	(103)
名護	23.3	(+0.5)	1572.0	(79)	109	1708.7	(99)
久米島	23.7	(+0.6)	1978.5	(96)	113	1672.4	(97)
宮古島	24.3	(+0.5)	2014.5	(102)	109	1851.6	(107)
石垣島	25.0	(+0.6)	2197.0	(107)	97	1872.0	(103)
西表島	24.6	(+0.8)	2413.0	(107)	113	1732.4	(101)
与那国島	24.5	(+0.5)	2623.5	(115)	118	1623.5	(104)
南大東島	23.8	(+0.4)	1257.5	(82)	82	2279.1	(110)

- (注) 1. これらは12月20日までの観測値を使った集計結果である。
2. 値の横に] がある場合(資料不足値)には、統計期間内のデータに欠測等統計に用いなかった値が含まれているので注意されたい。
3. 平年差(比)は同期間の日別平年値を平均・合計したものに對する差(比)である。

5 平年差（比）が観測史上1位を上回っている地点

（12月20日までのデータによる）

年平均気温の平年差が最高値を上回っている地点

地点名	2015年(12月20日まで)			これまでの最大 平年差(西暦年)	開始年
	平年差	値	平年値*		
釧路	+1.5	8.1	6.6	+1.1 (2010)	1910
根室	+1.3	7.9	6.6	+1.2 (1990)	1879
帯広	+1.4	8.6	7.2	+1.2 (2010)	1892
広尾	+1.3	8.5	7.2	+1.2 (2010)	1958
秋田	+1.0=	13.1	12.1	+1.0 (1990)	1882
盛岡	+1.3	11.9	10.6	+1.1 (1990)	1924
大船渡	+1.3	12.9	11.6	+1.1 (1990)	1963
仙台	+1.3	14.0	12.7	+1.2 (1990)	1926
福島	+1.2	14.6	13.4	+1.1 (1990)	1889
白河	+1.0	12.9	11.9	+0.9 (2004)	1940
水戸	+1.1	15.1	14.0	+1.0 (1990)	1897
館野	+1.2	15.3	14.1	+1.0 (2010)	1921
宇都宮	+1.1	15.3	14.2	+1.0 (2010)	1890
前橋	+1.1	16.0	14.9	+0.9 (2010)	1896
秩父	+1.0=	14.5	13.5	+1.0 (1990)	1926
千葉	+1.1=	17.1	16.0	+1.1 (2004)	1966
西表島	+0.8=	24.6	23.8	+0.8 (1998)	1955

年降水量の平年比が最大値を上回っている地点

地点名	2015年(12月20日まで)			これまでの最大 平年比(西暦年)	開始年
	平年比	値	平年値*		
	%	mm	mm	%	
枕崎	180	3873.0	2175.6	178 (2015)	1923

年間日照時間の平年比が最大値を上回っている地点

地点名	2015年(12月20日まで)			これまでの最大 平年比(西暦年)	開始年
	平年比	値	平年値*		
	%	h	h	%	
仙台	117=	2042.4	1796.1	117 (2014)	1927

- (注) 1.これらは12月20日までの観測値を使った集計結果であるので、年末までのデータを加えた確定値では変わる可能性がある。
 2.値の横に]がある場合(資料不足値)には、統計期間内のデータに欠測等統計に用いなかった値が含まれている。順位は極値順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては注意されたい。
 3.平年値(*)は日別平年値を平均・合計したものである。
 平年値とは1981~2010年の30年間の値を平均したものである。
 4.過去の平年差(比)と同値は「=」で表す。